

令和2年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

6年

教科	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○話すこと・聞くことにおいて、目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫して話したり、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめたりする力をつける必要がある。 ○書くことにおいて、事実と感想、意見などを区別しながら、目的や意図に応じて書く力を伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な文言や、数値などを引用したり、図解したり、重要な語句を強調するなどの工夫を加えて表現する力を育てるとともに、自分の考えをより深めるために相手の話をよく聞く力を育てる。 ○何のために書くのか、意図を明確にし、読み手を意識した上で、書こうとする文章の種類に応じて理解しやすい文章を書く力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室の中に限らず、全校児童や学校外の人々などを対象とした、多様な場や相手との「話す、聞く」機会を設け、表現する力を高める。 ○互いに文章を読み合い、優れた表現を模範として書く表現方法を高める。また、引用に終始せず、引用した部分と自分の考えの関係を明確にして書くよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話を聞く態度を養うと共に、言葉を受け取る相手を意識して話すことができるようになった。 ○書くことの内容の精査は充実しているが丁寧に仕上げることについて対策が必要である。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的事象や流れとの関連を、一人ひとりが興味や関心をもって探求しようとする力をつける必要がある。 ○資料を的確に読み取る力や、歴史的な事象についての考えを表現できる力を伸ばす必要がある。 ○政治や経済の動きに関心を持ち、出来事に対して考えをもつ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の歴史に興味・関心を持ち、理解を深め、進んで調べようとする態度を育てる。 ○社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入を工夫し、歴史的事象や流れに興味や関心をもって学習できるようにする。児童が学習計画を立て、主体的に学習できるように学習過程を工夫する。 ○単元末に、学習したことをまとめる活動を取り入れ、資料と関連付けて、自分なりの考察ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用して、資料や動画を多く学習活動に取り入れたことで、楽しみながら活動することができた。 ○学んだことをまとめる活動を通して、表現する力を伸ばすことが重要であると意識させることができた。適切に資料を活用し、分かったことをまとめる力を伸ばす必要がある。

<p>体育</p>	<p>○楽しさを味わいながら運動する児童がいる一方、運動経験の少なさや、体を動かす意欲がない児童も目立ち、進んで運動できない児童もいる。</p> <p>○体力の低下が顕著になっている。持久力や俊敏性、力強さなど様々な体力を向上させていく必要がある。</p>	<p>○運動する場や練習の仕方を工夫して、少しでも技能が高められるようにする。</p> <p>○体力を高める運動を取り入れていく。</p> <p>○休み時間等で取り組める運動を提示し、体育の授業だけでなく、運動の日常化につなげ、遊びの中からも体力向上につなげることを意識させる。</p>	<p>○友達と学び合う場を設定し、お互いに教え合いながら学習できるように意識させる。</p> <p>○日常化につながる運動の提示と、鉄棒や縄跳び等の指導を行う。</p> <p>○学校の取組を生かして、意欲をもって取り組むことができるように指導する。</p>	<p>○ICT機器を活用して、資料や動画を学習活動に取り入れたことで、体の動かし方をイメージしながら活動することができた。</p> <p>○学年で活動することで、互いに競争、協同して取り組むことができた。</p>
<p>総合</p>	<p>○問題の解決や探究活動の過程の中で、情報を的確に整理・分析したり、関連付けたりする能力を身に付ける必要がある。</p>	<p>○情報を的確に活用し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。</p>	<p>○児童の興味・関心に基づくテーマを設定し、課題解決に必要な情報を見通せるようにする。</p> <p>○友達との協同的な活動や意見交流の場を多く設定し、自らの学びを深め、さらに解決していこうとする探究の姿勢を身に付けられるようにする。</p>	<p>○総合のテーマを配慮して、単元学習的取り組みを実施することができた。</p> <p>○異学年との系統、地域性を生かした単元開発にはさらなる研究が必要である。</p>
<p>理科</p>	<p>○実験や観察は意欲的に取り組むことができるが、見通しもって課題を追求する力を伸ばす必要がある。</p> <p>○実験や詳しい観察を通して自分で発見したことや学習したことを科学知識（正しい科学用語）として確実に定着させる必要がある。</p>	<p>○現象の変化や働きについてどこからどのようにして推論したか、特に経験上こう考えたという表現の仕方についての育成に重点を置く。</p> <p>○意識して正しい科学用語を使うよう指導し、学習したことを適宜振り返り、知識として身につけられるようにする。</p>	<p>○学習課題を主体的に捉えられるように学習の場を設定し、実験方法を一人ひとりが考えられるようにする。</p> <p>○学習したことをノートやワークシート、レポート、発表によって表現する活動を通して、知識を深められるようにする。</p>	<p>○体験経験の少なさから、実験方法を自分たちで考えることはなかなか難しかったが、実験方法を教える、よりやりやすいと工夫が見られた。</p> <p>○理科で使う同じ単語、同じ言い回しに気をつけて書いたり発言させたりすることにより知識が深まってきた。</p>